

第 78 回 火力専門委員会 溶接分科会 議事録

- I. 日 時：2018 年 2 月 5 日（月） 13 時 30 分～17 時 20 分
- II. 場 所：日本機械学会 第 3・4 会議室
- III. 出席者：青山(東大)、樺田(MHPS)、倉富(東電 FP)、長谷川(発電技検)、原田(東芝)、
水谷(東工大)、飯田(東電 FP)、逢澤(MHPS 日立)、飯島(日溶協)、
大橋(中電)、堀(関電)
- 欠 席：山下(神鋼)、幅野(IHI)
- 代理出席： なし
- オブザーバー：鈴木(MHPS 長崎)、吉村(MHPS 長崎)
- 事務局： 原

IV. 配付資料

- 78-1 第 77 回溶接分科会議事録(案)
- 78-2 溶接分科会委員名簿
- 78-3 第 82 回火力専門委員会報告
- 78-4 第 84 回発電設備規格委員会議事次第
- 78-5 火力専門委員会書面投票 No.73(201X 年改訂第Ⅱ章材料)結果報告
- 78-6 JESC 技術会議(1/16：発電用火力設備規格 2017 年追補)審議結果
- 78-7 用語集 ……資料なし
- 78-8-1 レビュー票(東電 FP)
- 78-9-1 新旧対比表(MHPS)
- 78-9-2 新旧対比表(MHPS 日立)
- 78-10-1,2,3 201X 年版改訂資料(第Ⅵ章)表紙他
- 78-10-4 201X 年版改訂資料(第Ⅵ章)新旧対比表
- 78-11 審議履歴表

V. 議事

1. 前回議事録確認 [資料 78-1]
前回議事録(案)について確認を行い、議事録(案)が承認された。
○(3)新旧対比表 5)第Ⅵ章 アーティクル 7 の 4 行目「JIS 用語に従うと…判断した。」
は、次の文と内容が重複しているので、削除する。
2. 分科会委員・役員の承認 [資料 78-2]
樺田委員の退任が報告された。新任委員候補として鈴木氏(MHPS)が、出席委員全員の賛成により次回火力専門委員会へ推薦することが承認された。
また、互選より鈴木氏が副主席に選ばれた。
3. 報告事項
(1)火力専門委員会報告 [資料 78-3]
11 月 29 日開催の第 82 回火力専門委員会の主要項目が報告された。

- 火力専門委員会委員、各分科会委員の承認
- 第 76 回溶接分科会（9/11）、第 77 回溶接分科会（11/14）報告
 - ・新旧対比表の改訂内容の分類、記載方法・書式の再確認
 - ・発電用火力設備規格 201X 年版レビュー票、新旧対比表の審議状況
 - ・今後の作業の進め方の確認について。
- 審議結果報告
 - ・発電用火力設備規格 201X 年版第Ⅱ章材料 改訂提案
火力専門委員会の書面投票の実施が承認された。

(2)規格委員会報告 [資料 78-4]

12 月 6 日開催の第 84 回発電用設備規格委員会の主要項目が報告された。

- ・火力専門委員会(11/29 開催)報告
- ・火力関係の審議案件はなし。

(3)火力専門委員会書面投票 No.73 結果報告 [資料 78-5]

発電用火力設備規格 201X 年版 詳細規定 Ⅱ章材料の改訂案の火力専門委員会書面投票の結果が報告された。賛成票が 2／3 以上あったが、反対票があったため可決とならなかった。現在、意見対応中。

(4)発電用火力設備規格(2017 追補)の JECS 技術会議結果報告 [資料 78-6]

1 月 16 日(火)に開催された JECS 技術会議における、発電用火力設備規格(2017 追補、事例規格)の審議結果が報告された。

- 規格の変更が必要になるような意見は無かった。
- 主な意見・質問は、以下のとおり。
 - ・既設置設備の高クロム鋼については、寿命評価式を用いて評価することを、追加で説明した方が良い。
 - ・規格の火技解釈への取り入れにあたっては、高クロム鋼の許容応力が火技解釈と JSME で、同じ値になっていることが望ましいのではないか。

4. 審議事項

(1)用語集の確認

新たな追記・変更箇所はなし。

(2)レビュー票審議

1) 第Ⅶ章 アーティクルⅣ QW-420 [資料 78-8-1]

倉富委員から、P 番号関連の見直しを行ったレビュー票について説明があり、審議を行った。

- 本文網掛けの追記箇所は、読替えを具体的に要求するなどの分かりやすい表現に見直し、合わせて JIS の P 番号の対応表と同様な表を記載する。また、補遺で補足の説明をする。

2) ダブルチェック結果反映の進捗状況の確認

樺田副主査が、審議履歴表によりダブルチェック結果の反映、新旧対比表の準備などの進捗状況を確認した。

(3) 新旧対比表

1) 補遺（第Ⅵ章、Ⅶ章）

[資料 78-9-1]

樺田委員が、補遺の新旧対比表について説明し、第Ⅵ章分について審議を行った。第Ⅶ章についても概略を説明したが、審議は次回分科会とした。

○ 1. 非破壊検査員の資格について

- ・ 1 ページ 非破壊試験員の資格に関する規定においても
→ 非破壊試験員の資格においても
- ・ 1 ページ ④ JIS Z2305(2001)「非破壊試験—技術者の資格及び認証」
→ JIS Z2305(2013)「非破壊試験技術者の資格及び認証」

○ T-434.5 以下について、確認して修正する。

PW-16_ _ → PW-16.3 (_ _ はスペースの意味。)

○ ヘッダー部

第Ⅹ章 → 第Ⅵ章補遺

○ タイトル行 改訂前の欄

2015 追補 → 2012 年版（2015 年追補、2017 年追補を含む）

2) 第Ⅵ章 アーティクル 4（MHPS 日立）

○ T-450

③JSME 技術変更 → ⑤誤記修正

○ T-471.4

⑤誤記修正 → ④表現の修正（欠落部分の追記）

○ 表-490

表の右側が隠れているので、見えるようにする。

○ E-460

J-431 → 図 J-431

○ G-461

- ・ 254mm → 250mm

~~・ ⑥誤記修正を追加する。~~

○図 G-461(a)

- ・横軸 振動子係数 → 振動子係数 (mm)
- ・③JSME 技術的変更 → ⑤誤記修正

○図 J-431

- ③JSME 技術的変更 → ④表現の修正 (欠落部分の追記)

(4)改訂提案資料(第Ⅵ章)の確認

[資料 78-10-1,2,3,4]

改訂資料の確認・審議後、201X 年版 第Ⅵ章改訂案を、2 月 21 日開催の火力専門委員会に提案することが承認された。

1)資料 78-10-4 の新旧対比表全般の確認。

○タイトル行 改訂前の欄 (全般)

2015 追補 → 2012 年版 (2015 年追補、2017 年追補を含む)

○T-120.1 (注 a)、(注 b)

改訂前の削除箇所は、削除箇所でなく下線とする。

○T-120.2

「非破壊試験—技術者の資格及び認証」 → 「非破壊試験技術者の資格及び認証」

○T-261.2

- ③JSME 技術的変更 → ⑤誤記修正

○図 T-275

印刷が逆さになっているので、提案配布資料では印刷時に修正する。

○図 T-434.3

- ⑤誤記修正 → ④表現の修正

○T-631.1、T-631.2

改訂内容の記載箇所を可能な範囲で、改訂箇所のレベルに合わせる。

○Ⅲ-641.2

- ⑤誤記修正 → ④表現の修正

○T-764.2

- ④表現の修正とする。

○T-764.3

- ①ASME 改訂の取入れとする。

○T-777.2

④表現の修正を追加する。

○I-791

①ASME 改訂の取入れとする。

○図 T-764.2(b) (2)

ASME の誤植 SE-709 の数値を採用するに括弧を付け、上のスペースを詰める。

2) 書面投票用レビュー票の保存場所について

事務局が、書面投票の参考資料として見ていただくレビュー票の保存場所を説明した。

3) 提案資料の準備（第Ⅵ章と補遺（第Ⅶ章））

○分科会でのコメントなどを反映し修正した新旧対比表を、各担当委員がCSキャビネットの所定のフォルダに、最新版であることが分かるようにして保存する。
資料の保存は、火力専門委員会（2/21）の一週間前（2/14）までを目安とする。

○表紙、改訂概要等の提案資料（素案は、資料 78-10-1,2,3）は、三役一任とする。

○レビュー票の確定版の保存は、火力専門委員会（2/21）までを目安とするが、三役が事前確認するため、期限を早めることが必要になった場合には、三役が別途各委員に連絡する。

(5) その他

情報共有のため、事務局が以下の WINDOWS WORD 関連の情報を説明した。

○2018年1月初めのWindowsのセキュリティ更新プログラムにより、Microsoft 数式エディタ 3.0 がOfficeから削除された。

○このため、数式エディタを用いて作成した数式の編集が出来なくなっている。また、表記に文字化けが発生する場合がある。

○予期せぬ誤記が発生する可能性があるので、注意が必要。

Ⅵ. 次回開催予定

- ・日時：2018年4月23日（月） 13時30分～
- ・場所：東京大学工学部（本郷）

以 上